

帯広圏公共交通調査・サービス改善業務委託 要求水準書

本要求水準書は、帯広圏公共交通調査・サービス改善業務（以下、「本業務」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

要求水準書には、要求する最低水準を示しており、これを上回る業務水準の提案をもとめるものである。

1 目的

- (1) 帯広市、音更町、芽室町、幕別町における1市3町（以下、「帯広圏」という。）の境界を越えた利便性の高い、持続可能な交通サービスを実現する。
- (2) 地域住民の安定的な医療受診環境を確保するため、医療機関へのアクセス性を向上させる。
- (3) 地域の多様な主体が参加する官民連携プラットフォーム（以下、「P F」という。）を通じて、人的・資金的な側面から公共交通の持続可能性を高める。
- (4) 本業務結果を、今後の公共交通サービスに反映させる。

2 業務内容

(1) 本業務の方針

本業務は、国土交通省 令和6年度 地域生活圏形成リーディング事業（調査業務）（以下、「リーディング事業」という。）から支援を受けるものであり、リーディング事業の調査趣旨、調査概要に従って行う。

令和6年度地域生活圏リーディング事業実施の手引きを遵守し業務を行う。

(2) 業務対象エリア

帯広市、音更町、芽室町、幕別町

(3) 実施体制

本事業は、リーディング事業申請内容のとおり、P Fを組成することとしており、帯広市、音更町、芽室町、幕別町、北海道、十勝地区バス協会、十勝地区ハイヤー協会、モビリティサービス提供企業、総合商社をP Fの構成員とする。

(4) 移動実態の調査・分析

平均的な移動実態について、人流データ等の各種移動データを活用し分析を行う。また、調査内容の妥当性について評価を行う。

(5) 課題整理・検討

移動実態の分析結果より、帯広圏における公共交通の課題を整理するとともに、持続可能な公共交通とするための施策について検討を行う。

(6) 既存サービスの改善

課題検討結果より、帯広圏における既存公共交通（路線バス、コミュニティバス、予約制乗合タクシー、タクシー等）のサービス改善を図る。

(7) 新しい交通サービス導入検討・企画

課題検討結果より、既存公共交通の補完として新しい交通サービスの導入について検討するとともに、公的資金に頼らない持続可能な体制の構築を図る。

(8) 他分野との連携

本業務は、持続可能な地域生活圏の形成に向けて分野の垣根を越えた「事業の連携」を満たす取り組みとする。

特に、住民の健康増進と生活の質の向上を図る上で、医療機関への円滑なアクセスを確保することは重要な課題であり、帯広市内の主要医療機関への公共交通の利便性が相対的に低い現状においては、住民の時間的・経済的負担が生じている。このため、公共交通と医療が連携し、住民の医療アクセスを確保し、その利便性を向上させるための取り組みを推進する必要がある。

(9) 受託者の取り組み姿勢

本業務は、帯広圏の公共交通に関して調査検討を行うとともに、受託者が主体的にサービスの改善・構築に努めるものである。